



# YMCA

月刊 The YMCA 付録

編集・発行 / 日本 YMCA 同盟 東京都新宿区本郷町7番地  
 大阪青年 発行：錦織一郎 編集：大阪 YMCA 広報室  
 〒550-0001 大阪市西区土佐堀1-5-6  
 TEL06-6441-0894 FAX06-6445-0297  
 URL: http://www.osakaymca.or.jp/  
 (年10回発行) 1947年10月27日 第3種郵便物認可

## 大阪青年

2006 Nov. 11

No. 589

2006年度大阪YMCA年間聖句

「愛する者たち、互いに愛し合ひましょう。」  
 (ヨハネの手紙1 4章7節)

### 大阪YMCAの使命

大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。

- ボランティア精神をはぐくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代の人びとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。
- 未来を築く力強い子どもたちを、家庭、地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する動きをすすめます。
- 世界の人びとと力を合わせ、環境、人権、貧困の課題に取り組み平和で公正な世界をめざします。



「車椅子らくらく登山」の一コマ

## YMCAサンホーム

# 多世代交流の中で育み合う

YMCAサンホーム施設長 尾北昇

YMCAの高齢者支援施設サンホームは、大阪の地で1997年開設以来、地域の高齢者およびご家族に福祉サービスを通して貢献してきました。特別養護老人ホーム運営を主軸とし、併設事業としてデイサービスセンター、ヘルパーステーション、ケアプランセンター、今年度からは新たに地域包括支援センターといった事業を展開しています。

また、同時に地域ボランティアによる支援の輪を広げ実施している地域奉仕活動も数多く行っています。「車椅子らくらく登山」(車椅子の方と生駒らくらく登山道をハイキング)、「レインボークラブ(肢体不自由児者への外出支援)」、「ふれあいサロン(独居高齢者支援)」等。

このプログラムには、小学生から高齢者まで、多世代にわたるボランティアが関わっています。そんな活動を通してボランティアになった中学生がいます。彼女は、中学1年の時、近隣の中学校の生徒会の一員としてサンホームの「高齢者ふれあいサロン」に参加しました。

「ふれあいサロン」は東YMCAのクリスマス献金プログラムで、地域の一人暮らしの高齢者の方々に食事とレクリエーションを楽しんでいただいています。彼女は初めてボランティアとして参加して以来、毎年「ふれあいサロン」に「らくらく登山」にも参加し、高校生になってからは、平日もサンホームに来て介護のボランティアをするようになりました。彼女は「サンホームには私の居場所があるから」と言います。今夏もサンホームで学校の宿題を午前中に終え、午後からは入所者のフロアで介護のお手伝いをしていました。彼女はここサンホームで、高齢者と一緒に時間を過ごすことが大切であり、そのことがボランティアとして関わる自分自身にも充実感を与えてくれることに喜びを感じています。サンホームで高齢者と接し、スタッフとともに活動することで、多くのことを学び、彼女自身も成長しているのです。

「自分のいのちとみんなのいのちを大切にすることのできる健やかな心をもつ人を育むこと」がYMCAの願いであるとともに使命です。YMCAサンホームでは、高齢者支援施設としてさまざまな福祉サービス事業を行いながら、地域の青少年たちをボランティアとして受け入れ、多世代の中での自分の関わりを理解し、社会性を身につけた成熟した大人となるよう成長を見守っていきます。

## 地の塩

▼近年、幼稚園、保育所を取り囲む状況が急激な変化を迎えています。本年10月から「認定こども園」が法的に制度化されたことを知っている方は多いと思います。0歳児から就学までの子どもにも教育・保育の場を与えると共に保護者に総合的な子育て支援の提供を目指すことが、この制度化の趣旨だということです。これにより幼稚園と保育所の連携、幼稚園における保育に欠ける子どもへの保育、保育所が教育的な機能を加えるなど、これから子どもへの教育・保育の場はこれまで以上に急激な変化が起こることが予想されます▼このような政策の背後には急速な少子化、家庭や地域を取り囲む環境の変化、女性の労働力確保など長時間にわたる子どもへのケアを必要とする社会的な状況があります▼1989年11月に国連第44回総会で採択された「子どもの権利条約」は子どもにとって最善のものを与えることが必要であることを共通認識として、子どもの健やかな成長を求めるものであることは、良く知られている通りです。そのような観点から「認定こども園」制度をみると、極めて対症療法的であり、子どもの成育にどのような場が、またどのような配慮が最も大切かについてどれ程深く検討されたのか、疑問を抱かれます▼YMCAはこれまで長年にわたって青少年活動の先駆的な役割を担ってきました。YMCAの活動が、子どもに最善のものを提供しようとする努力によるものであるか、常に自らの歩みを問うことの大切さを思います。(和)